

平成 30 年 6 月 8 日  
気象ビジネス推進コンソーシアム  
気 象 庁

平成 30 年度第 1 回気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) セミナーの開催について  
～アメダスデータや気象衛星観測データに触ってみよう! & 国内・海外での気象ビジネスの動向～

7 月 6 日 (金) に、平成 30 年度第 1 回 WXBC セミナーを開催します。今回は地域気象観測システム (アメダス) データや気象衛星「ひまわり 8 号」の観測データを対象に、データの中身やフォーマットについて詳しくご説明するとともに、それらのデータを活用した実際の国内や海外の気象ビジネス事例についてご紹介いたします。セミナーにご参加いただくことで気象データをビジネスの現場で活用するためのスキルが身につきますので、是非ご参加下さい!

近年の IoT、人工知能 (AI)、ビッグデータ等に関する技術の発展により、多様な産業において、データを収集・分析する基盤が整いつつあります。これらのデータと気象データを比較し、高度に分析することにより、意思決定や業務プロセスの改善等を通じた生産性の向上が期待されます。

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) では、産業界における気象データの利用の拡大に資するべく、平成 29 年度より WXBC セミナーを開催しております。平成 30 年度は「気象データに触ってみよう! 試してみよう!」を年間テーマとして、気象データの取り扱い方や活用方法に重点を置いた内容といたします。

第 1 回 WXBC セミナーは、アメダスデータや気象衛星「ひまわり 8 号」の観測データを対象に、通常はあまり詳しくご説明することのないデータの中身やフォーマットについてご説明するとともに、それらのデータを自在に活用した実際の気象ビジネス事例や最先端のトピックスについてご紹介いたします。さらに、今回は広く国内や海外の気象ビジネスの動向をご紹介いただきます。このほか、最新のデータ処理技術を用いて処理した高精細な「ひまわり 8 号」の様々な画像を大型モニターでご覧いただけるほか、実際の気象データに触れることのできる体験コーナーを設置いたします。

現在、世界最高性能を有する「ひまわり 8 号」の観測データ (高頻度、高解像度、多バンド) を用いることにより、刻々と変化する雲の様子や、従来は識別が困難だった霧や黄砂の判別が容易となったほか、海外における森林火災や火山噴火・噴煙の様子も捉えることができるようになっていきます。しかも、16 バンドという多バンドの画像データを組み合わせる RGB というデータ処理手法を用いることにより、着目した現象を強調して視覚的に表現することが可能となっています。また、GIS など他のデータと重ね合わせることで、新たなビジネスのための基盤となる情報が得られます。このような「ひまわり 8 号」の観測データを縦横無尽に駆使することで、国内はもとより海外における気象や関連する現象を把握・分析することが可能となっています。当日は、霧や森林火災などのサンプル動画や RGB 手法によるデータ処理の例をご覧いただけます。

1. 日時 平成 30 年 7 月 6 日 (金) 13 時 00 分～15 時 40 分

これに先立ち、11 時 00 分～12 時 00 分に、希望される方を対象に基礎知識である「気象データの全体像 + 気象データの入手方法」についてのご説明を実施いたします。

2. 場所 気象庁講堂

詳細は以下の URL をご覧下さい。

[https://www.wxbc.jp/event/20180706\\_seminar201801/](https://www.wxbc.jp/event/20180706_seminar201801/)

問合せ先: 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局 分木、福井  
(気象庁総務部情報利用推進課 気象ビジネス支援企画室)  
電話 03-3212-8341 (内線 4261・4262)